

第6章

# 本事業に対する各国首脳等のメッセージ



## 1 日本

## ● 安倍晋三内閣総理大臣からのメッセージ

第45回「東南アジア青年の船」事業に参加される各国代表の皆さん、日本へようこそいらっしゃいました。心から歓迎いたします。

私は、総理就任以来、皆さんの国10か国全て訪問させていただきました。それぞれの国で大変な歓迎を頂いたことを今でも覚えておりますし、感謝しております。昨年、設立50周年を迎えたASEANが、我が国と基本的価値を共有するパートナーとして、地域の安定と繁栄を主導していくことを期待しています。

今月9日には、カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ及びベトナムの、5か国の首脳を東京にお迎えいたしました。日本・メコン地域諸国首脳会議を開催し、様々な分野での人的交流を深化させることで合意いたしました。

未来を切り開くのは人、特に若い皆さんの力にかかっています。「東南アジア青年の船」事業は、人を大切にする協力の一つです。これまで1万2千人を超える青年

が参加し、その経験を礎に、現在、各分野で大いに活躍されています。

これから皆さんは、訪問国でのホームステイあるいは船上での共同生活を通じて、異なる歴史・文化・価値観を持つ多くの仲間と会うことでしょう。そして大いに語り合い、相手の国のすばらしさを学び、また、自らの生まれ育った国への誇りを確かめながら、深い絆を築いていっていただきたいと思います。

この船で培った友情を大切にいただき、今後もこのネットワークをいかしながら、大いに活躍していただくことを期待しています。

平成30年10月31日

表敬訪問

内閣総理大臣官邸にて

## 2 ブルネイ

## ● Major General (Rtd) Dato Paduka Seri Haji Aminuddin Ihsan bin Pehin Orang Kaya Saiful Mulok Dato Seri Paduka Haji Abidin文化青年スポーツ大臣からのメッセージ

何よりもまず、第45回「東南アジア青年の船」事業（SSEAYP）に参加されているASEAN各国と日本からのすべての友人の皆さんを、平和の郷ブルネイへ心から歓迎いたします。2014年以来初めて、そして今年度事業の最初の寄港地として、ブルネイで皆さんを迎え、今年度「東南アジア青年の船」事業の一翼を担うことができますことは、大変光栄であり誇りであります。

SSEAYPは、互いの文化や生活に対する認識と理解を促進するだけでなく、関係を強化するために多くのことを行ってきました。10月17日に我々の代表団に向けて行われた壮行会で、加藤元彦在ブルネイ・ダルサラーム国特命全権大使がおっしゃった言葉を思い出します。大使閣下は、ASEANと日本の青年たちの間にネットワークとコミュニケーションの確固たる基盤を構築する上で、いかにこの事業が重要な役割を果たしているかについて強調されました。実際にSSEAYPは、船内活動及び訪問国活動の両方において、お互いの間に新しい橋を架けることで、一つの大きなコミュニティとして互いをより深いレベルで理解し合う絶好の機会です。海を越え青年を育成し団結させるこの貴重な事業を主催してください。日本政府に対し、改めてその寛大さと継続的な貢献に心から感謝申し上げます。

多くの青年にとって今回が初めてのブルネイ訪問であることから、私たちのこの愛する国を間近に見て、直に文化を学び、すべての皆さんに有意義な経験をしてほしいと願っています。ゆえに、行程の一環として、特に私たちの日常生活や文化、歴史を紹介できる体験型プログラムを作り出すことは私たちにとって大きな喜びであります。

実にブルネイ人として、昨年10月、歴史的な国王即位50周年を祝福しましたことは、今でも誇りに思っています。国王即位50周年の永続的な財産の一部として、我々の国に新しく壮大な建造物が建築されました。ラジャ・イストゥリ・プギラン・アナック・ハジャ・サレハ橋や、風光明媚なマコタ・ジュブリ・ウマス公園などがあり、それらは首都にあるオマル・アリ・サイフディーン・モスクやカンボン・アイール（水上集落）などの歴

史的建造物と並行して実際に見ることができます。

この事業における活動の中でも、すべての皆さんがホストファミリーと過ごす機会があることを、私たちとても楽しみにしています。この期間中、皆さんのそれぞれの国でもそうであるように、私たち特有の生活様式、日常文化、料理、そしてブルネイでの家庭生活がどのように特別に行われているかを自分自身で体験してください。全体として、SSEAYPの目的とおり、ブルネイ・ダルサラームの独特な文化の真実を描き、その美しさを皆さんと共有することが私たちのねらいです。

第45回「東南アジア青年の船」事業参加青年の皆さん、ブルネイでの4日間の滞在は短いものですが、皆さんが私たちの国で経験したことは思い深いものとなり、生涯続く関係を育むことであろうと強く信じています。皆さん一人ひとりが素晴らしいストーリーと経験を持ち帰り、いつも大切なものとして自国の家族や友人と共有してくれることを願っています。ブルネイを出発し、次の寄港地に向けて出港するとき、それはまた永遠に続く友情と意味のあるネットワークを構築する機会であり、そして一つのコミュニティとしてお互いに最大限に学び合う機会でもあります。

最後に、この事業への継続的な貢献に対し、改めて大使閣下及び日本政府に御礼を申し上げます。またこれからの旅に向けて、すべての参加国と参加青年にお祈りします。これまでの航海において海は穏やかだったと伺いました。今後も海が穏やかであることを願っています。この事業を終え、自分の家に帰り着いたとき、あなたの人生は良い方向に変化しているであろうことを確信しています。すべての皆さんに成功を。そしてブルネイでの滞在が素晴らしいものになりますように。ブルネイに家族がいることを覚えていてください。いつでも歓迎いたします。

ありがとうございました。

平成30年11月10日

歓迎夕食会

インターナショナル・コンベンション・センターにて

## 3 フィリピン（マニラ）

### ● Ambassador Junever M. Mahilum-West外務次官補からのメッセージ

Teodoro Locsin, Jr.外務大臣に代わり、「東南アジア青年の船」事業の皆さんをフィリピンに歓迎いたします。

また、フィリピン国内でSSEAYPの担当をする国家青少年委員会に対し、感謝と心からの祝辞を述べたいと思います。

SSEAYPには輝かしい歴史があります。東南アジアと日本から、国を代表する300人の才能ある青年を集め、45年目を迎えました。この地域の青年たちの友情を育み、関係を構築するのに優れた、極めて重要な交流事業です。

ASEANは、域内の6億3,500万人の人々のニーズに応えようとしています。ASEAN共同体のビジョンは、人々に利益をもたらすことです。ASEAN共同体は、持続可能かつレジリエントでダイナミックなものです。私たちは生活の質を高め、機会への公平なアクセスをすべての人に提供し、人々、特に若者の人権を促進し保護する包括的な共同体を目指しています。

ASEANの人口の3分の1、つまり2億1,300万人以上の人々が34歳以下です。ASEANは、世界を引き継いでいく若者に投資する必要性に取り組まなければなりません。皆さんの中に、未来の指導者となり、自身の国を動かす形作っていく人がいたとしても、驚きではありません。

ASEANは、第4次産業革命の課題に市民が備えられるよう、地域全体で質の高い教育に投資し、教育の資質を調和させる必要があることに留意しています。

ASEANはその対話国と共に、ASEANの青年が留学することを可能にする奨学金や、とりわけキャバシティー・ビルディングやeラーニングに関する教師や指導者の交換など、学生の流動性を高める方法も検討しています。

私の世代は、テレビや新聞を通してニュースを受け取っていました。音楽はラジオやウォークマンに入ったカセットテープを通して聴いていましたし、旅行は固定電話を通して旅行代理店で予約をしていました。

皆さんの世代は、この高度につながったハイテクな世界で育ってきました。ニュースを聞くのも、旅行を予約して支払いをするのも、すべてボタンを押すだけで完了します。タブレットは教科書の代わりとなっています。間違いなく、ハイテクな世界に住んでいることで与えられる便利さは素晴らしいものであり、多くの時間を節約することができます。私たちは、以前は数日間、さらには数週間かかった作業を短縮することができる電子機器やその他の新しい技術に愛着を持っています。これらの発展の意義は、シンガポールが2018年ASEAN議長国と

して最近開催された第33回ASEAN首脳会議のハイライトでもあるテーマ、レジリエンスとイノベーションの背景となっています。私もつい昨日この会議から帰ってきたばかりです。

自国、そしておそらくこの地域の将来のリーダーとして、SSEAYPのような経験は、世界でテクノロジーが急速に発展している中において、人と人との関係に焦点を合わせる上で重要なツールになります。この事業は、ASEANの重要な対話国の一つである日本と協力して、皆さんに地域の兄弟姉妹と交流し、文化を通して互いの考え方をより深く理解する機会を提供しています。

皆さんが人生において、個々の道を切り開くためにこの世界に向かって進むとき、あなたの視野を広げ、あなたの隣人やその先を知り、そして理解することを可能にしたSSEAYPの思い出と経験を心に留めてください。そして、皆さんの中にそうなるであろう方がいることを私は確信しているのですが、あなたが政策や法律を作成したり具体化したりするポジションになったとき、ASEANそしてその他の地域の人々のことを、政策、改革、行動の念頭に置いてくださるようお願いしています。対処する問題に目を向けたとき、働きはより意義のあるものになるのです。

遠い昔、世界のある指導者が言いました。「若者のために未来を創れるとは限らない。だが、未来のために若者を創ることはできる。」これが、私たちがASEANの青年たちにしてあげたいと願っていることです。ASEAN共同体ビジョン2025（社会・文化共同体）に明記されている価値を重視する世界を皆さんに残すために、私たちの世代は共に働いているということを断言します。平和で公平で安定した世界です。

私たちの対話国である日本と、国家青少年委員会に感謝申し上げます。そして参加青年の皆さん、国家間の友好を育み、事実上それぞれの国の大使としての役割を務めてくれてありがとうございます。

SSEAYPのナショナル・リーダー、そして参加青年の皆さん、おめでとうございます。皆さんがこの事業を通して国を代表していることで、SSEAYPが、真の理解が花咲く友情の架け橋、それを築くことへの絶え間ない熱望のきっかけとなりますように。

平成30年11月17日  
到着歓迎式・歓迎夕食会  
マカティ・シャングリラ・ホテルにて

## 4 フィリピン（ダバオ）

### ● Ms. Sara Z. Duterte-Carpioダバオ市長からのメッセージ

皆さん、こんにちは。ダバオ市政府を代表し、第45回「東南アジア青年の船」事業のためにお集まりくださったASEAN各国と日本からの参加青年の皆さん、そして各国政府の指導者の皆さんをダバオ市に歓迎いたします。第45回事業の訪問国活動の中で、ここダバオ市を選んでくださり非常に光栄に思います。皆さんの滞在が有益で楽しいものになるよう祈っております。

若者は祖国の希望だと言ったのは、フィリピンの国民的英雄であるホセ・リサルでした。この格言は、文化や地域、国といった垣根を超えた真実です。実に、私たちは若者たちに、それぞれの国における明るい未来への希望を託しています。ここにいる非常に有能で将来を嘱望された代表青年の皆さん、今日のSSEAYPダバオ既参加青年が、ダバオ市のガバナンス、医療、国際関係やその他の分野におけるリーダーであるように、皆さんが近い将来それぞれの地域社会をますます発展させる意欲、情熱、思いやり、誠実さを持っていると私たちは信

じています。

リーダーシップの可能性を広げ、将来に向けてというだけでなく、今日この日からでも地域社会を導きその役に立てるように、すべての皆さんにとってこの第45回SSEAYPが、訪問する国からだけでなくお互いから学ぶ機会となりますように。

フィリピン政府国家青少年委員会、そして代表団を安全に目的地に連れて行くという主導的役割を担った有能なスタッフの皆さんに感謝申し上げます。

ありがとうございます。そして改めて、ダバオ市へようこそ。

平成30年11月18日  
歓迎昼食会  
マルコポーロ・ダバオにて  
(Ms. Maria Clara Belen Sunga Acosta  
ダバオ市議会議員による代読)

## 5 タイ

## ● General Anantaporn Kanjanarat社会開発・人間安全保障大臣からのメッセージ

タイ王国政府とタイの人々を代表し、本日ここバンコクにて、第45回「東南アジア青年の船」事業の管理官、ナショナル・リーダー、参加青年の皆さんを歓迎いたします。

この事業が1974年以来、ASEAN各国と日本の青年に、異文化を体験しお互いに学び合う独自の機会を提供し続けていることを知り、嬉しく思います。現在まで、1,300人を超えるタイの青年たちがこの事業の恩恵を受けました。彼らにはつぼん丸船上で共同生活を経験し、様々な創作活動に参加しました。強い友情の絆、相互理解と優れた団結力を見ることができてとても喜ばしく感じますし、44年前に事業が開始された時に想定されていたとおり、その強さは現在も変わらず保たれています。

これは、まさにこの船、そして若い船員たちがグローバル化の波と現代の課題をうまく乗り越えていくことを可能にするでしょう。

「東南アジア青年の船」事業は、青年たちがASEAN共同体という概念をさらに理解し、それに慣れ親しむための非常に良い手段であると考えます。私は、この青年の船はある意味ASEAN共同体のようであると信じています。知性的で大いなる可能性を持った11か国からの330人の青年が、お互いに学び合い、共に活動し、自身の文化や経験を共有するために、約2か月間、同じ船に乗船するのです。

さらに重要なことは、困難を乗り越え、事業の一部である課題を達成するために、彼らは自分たちの多様なバックグラウンドを有効に活用し、総力を駆使することができます。もちろん、本質的で根本的なチームワークの精神を生み出すだけでなく、「家族やコミュニティ」といった感覚も作り出すことができます。同様に、「東南アジア青年の船の団結したファミリー」とでも言えるような、そしてASEAN共同体の構築プロセスを促進していくことでしょう。

参加青年にとって、これは「一生に一度」の経験です。この特別な機会を最大限に活用し、その恩恵を受けよう、強く奨励します。視野を広げ、新しい視点を得ることは、将来のキャリアや取り組みにおいて、あなたの資産となることでしょう。そして常に覚えていてくだ

さい。共生こそが、経済危機、気候変動、犯罪、麻薬、文化的崩壊などといった地球規模の困難を乗り越える方法なのです。どのように地域社会を構築し、より豊かで平和な未来に進んでいくかということが、「共生」の概念なのです。

この事業を通して出会った友人は、あなたの生涯の友になるかもしれませんし、ビジネスパートナーになる可能性もあります。

ぜひ、ここで得た経験を大切に、作り上げたネットワークを維持していきましょう。これらはあなた自身の将来だけではなく、あなたの地域や国の将来にも役に立つでしょう。

この点におきましては、事業の開始から資金を提供してきた日本政府の寛大な支援に感謝いたします。

そしてASEAN地域が発展する中で、事業を実施し続けられるよう、ASEANの友人たちにも継続的な公的支援と参加を期待しています。

本日は、タイ王国政府を代表し皆さんを歓迎できることを光栄に思います。タイへの訪問の最初の日、ここコンベンションセンターにおける表敬訪問と歓迎夕食会が、タイ訪問国活動の主要な活動の始まりです。

短い滞在期間ではありますが、私たちが訪問者を歓迎する際の伝統的なタイのおもてなしと喜びあふれる笑顔を経験してください。

特にホストファミリーとのホームステイでは、タイの文化や生活様式を直接体験して直に見ることができるでしょう。

最後になりますが、改めて皆さんを温かくお迎えするとともに、タイでの滞在が心地良く楽しいものであることを祈っています。出港の準備が整った際には、タイでの懐かしい思い出を思い返してくれることを願っています。

タイでの滞在が素敵なものになりますように。どうぞ今晚の歓迎夕食会をお楽しみください。

平成30年11月24日

表敬訪問

ワユバック・コンベンション・センターにて

## 6 ベトナム

## ● Mr. Nguyen Ngoc Luongベトナム国家青少年委員会常任副議長からのメッセージ

ここ数日間、ベトナム、特にホーチミン市の人々、特に若者は、今年度「東南アジア青年の船」事業に参加する日本とASEANからの青年たちを迎え入れることを楽しみにしていました。そして今日、カトライ港にて初めての出会いの時、ベトナム国家青少年委員会を代表しすべての皆さんを温かく歓迎いたします。ベトナムで心踊る旅と有意義な時間を過ごされることを願っています。

今年は、HASEAN友好協力45周年という記念すべき年であり、また事業開始45年を迎える特別な年でもあります。45という数字は、ASEANと日本の戦略的パートナーシップ、とりわけ「東南アジア青年の船」事業の力強い発展を具体的に証明しています。この戦略的パートナーシップは、ASEAN各国と日本の青年たちに実用的で重要な恩恵をもたらしてきました。地域の平和と安定に対しても、能動的かつ連帯的に貢献してきました。

過去数年にわたり、ASEANと日本の青年間における協力プログラムや活動を通して、ASEANと日本の友好、相互理解、協力が促進されてきました。これらの中で、「東南アジア青年の船」事業は最も意義のある活動の一つであり、ASEAN各国と日本の多くの青年たちから歓迎されています。この青年の船事業に参加し20年を超え、ベトナム国家青少年委員会はこれまで680人以上のベトナム参加青年を、この地域の他の国々にベトナムのイメージを広めるため、そして同時に、日本やASEANの青年とベトナムの青年をつなぐ橋渡し役となるために派遣してきました。過去にこの事業に参加した多くのベトナム代表青年は、中央レベル、地方レベルの両方で指導的立場を担ってきました。

この機会をお借りし、この事業を運営して下さっている日本政府に対し、ベトナム国家青少年委員会のリー

ダーたちとベトナムの若い世代を代表し感謝を申し上げます。またASEAN各国政府と日本政府に対しまして、事業実施への積極的な貢献と協力に御礼申し上げます。そして近年事業に参加してきた、またこれから参加するであろうベトナムの青年たちへの温かい歓迎と真心に感謝の意を表明します。

ベトナムは、平和、友情、おもてなしの国であることでよく知られており、それを誇りに思っています。ベトナムに寄港中、ASEANと日本の参加青年はベトナムの青年たちと交流し、歴史的で文化的な場所を訪れ、そして最も楽しみなことに、ホームステイを通してベトナムの人々の日常生活を探求することでしょう。また、現在のベトナムの青年たちの素晴らしい活動に加え、祖国ベトナムの建設と防衛における進捗と功績を目の当たりにする機会もあるでしょう。皆さんが良い思い出を作り、私たちと過ごす時間が発見と美しい経験でいっぱいになることを願っています。彼らは、皆さんがベトナムの文化、国、人々に対する理解を深め、新しい家族となり、親しく美しい関係をここベトナムで築くよう手助けすることでしょう。

最後になりますが、改めて「東南アジア青年の船」事業参加者の皆さんを、ベトナムへ温かく歓迎いたします。健康と幸せがいつもあなたと共にありますように。

第45回「東南アジア青年の船」事業の素晴らしい成功をお祈りいたします。

ありがとうございます。

平成30年12月2日

到着歓迎式

カトライ港にて